

たきいNOW

たきいNOWは、地域の皆様に総合医療センターの「いま」をお伝えし、当院が提供する医療へのご理解を深めていただくことを主旨として発行しております。

- 病院長あいさつ
- 新本館施設案内(館内マップ)
- 外来受診のながれ
- 選定療養費について
- 院内処方・調剤について
- 新任部長のご紹介

No.17



病院長あいさつ



関西医科大学総合医療センター
病院長

岩坂 壽二

80年余りの歴史を有す関西医科大学附属滝井病院は、本年5月に本館を新築し、「関西医科大学総合医療センター」へと名称変更しました。本館が新しくなり、病院の名称が変わっても、以前と変わらず、紹介状をお持ちでない患者さんの選定療養費は据え置き、院内処方によりお支払額を減らし、また、治療にはリエゾン精神医療を心として、患者さんの心と体に寄り添い、安心・安全かつ良質な医療を提供できる病院を創ります。

高度で最先端の医療機器を持つ地域密着型の急性期医療センターを目指すことはもちろん、一般的な疾患に対応できる外来診療にも注力しています。

春には呼吸器外科を再開し、医療センターとして全領域をカバーし、また、各診療科がチーム医療を実施するため、22のセンターを有しています。

救命救急センターは“断らない病院”を旗印に救急患者を受け入れ、全診療科協力のもと診療に当たっています。センター

内には専属の精神神経科医、精神保健福祉士が在籍し、自殺未遂者への支援センター(大阪府自殺未遂者支援センター 名称: IRIS-アイリス-)を設置しています。

旧本館解体後には、国際規格のサッカー場がすっぽり入る緑豊かなホスピタルガーデンとして、平成30年春にグランドオープンします。市民の方々や、患者さんに憩いの場として利用していただきたいと思います。

当院は、皆さまご自身は云うに及ばず、愛しておられるご家族、ご友人など大切な人を受診させたい病院でありたいと思っています。

今後も患者さん中心の医療を提供するとともに、病病・病診連携を一層強化し、地域医療に貢献してまいりますので、皆さまの更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成30年春ホスピタルガーデン完成予想図

1F

総合案内/外来診察室/入院受付
窓口/外来受診予約・変更窓口/
患者総合相談窓口/総合受付/お
薬渡し窓口/防災センター他



1F 総合案内・正面玄関



1F お薬渡し窓口



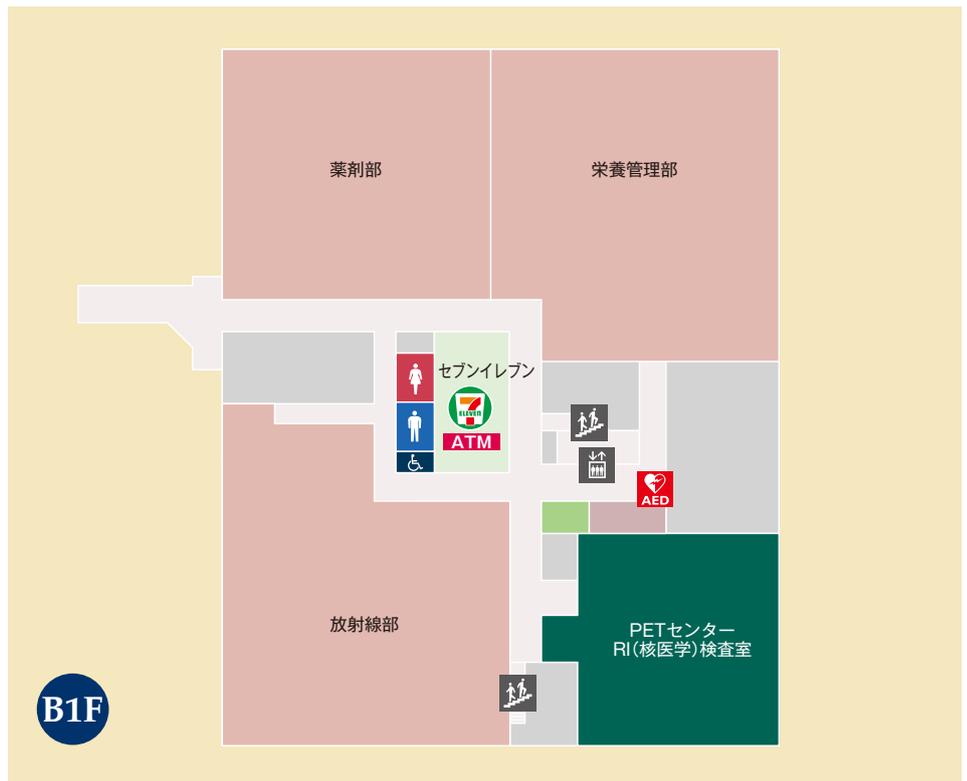
1F ブロック受付



1F 中待ち合い



1F



B1F

B1F

放射線診断 (一般撮影、X-TV、
CT、MRI、マンモグラフィー)
PETセンター・RI (核医学) 検査
室/栄養管理部/薬剤部/セブン
-イレブン/銀行ATM 他



B1F SPECT-CT装置

2F

外来診察室/内視鏡センター/
化学療法センター/生理機能検査室/
採血室・採尿室/レストラン
他



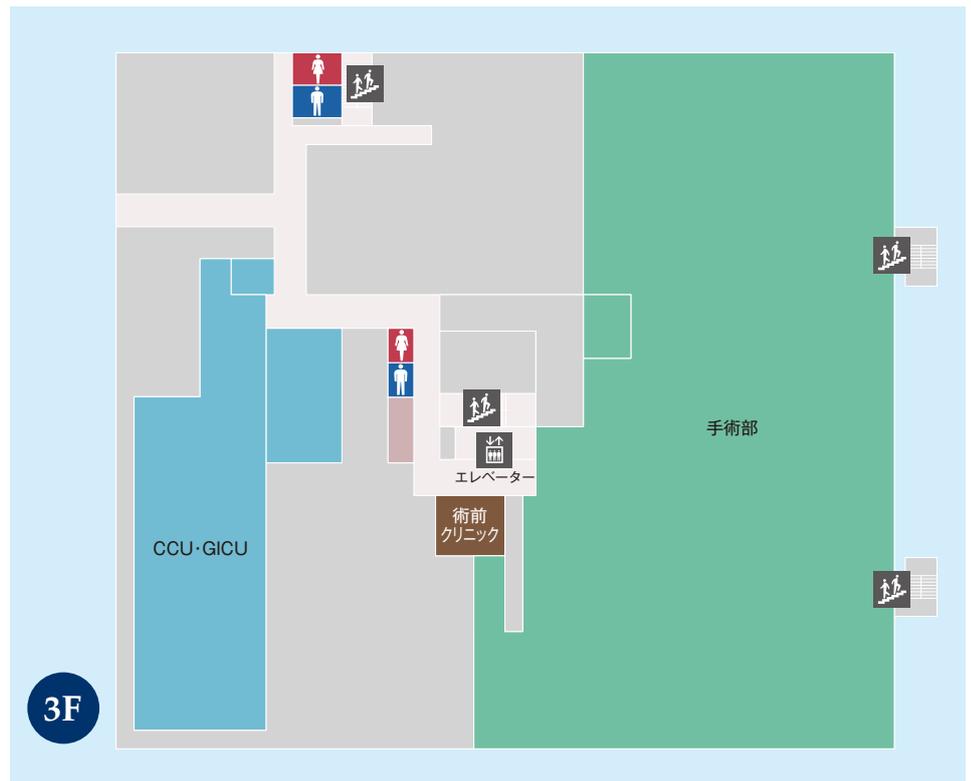
2F カフェ&レストランめぐみ



2F 化学療法センター



2F



3F

3F

GICU/CCU/心臓カテーテル検査室/
術前クリニック/家族待合室/手術室/
処置室/リカバリー室/説明室/MEセン
ター/滅菌材料室/手術管理室/麻醉監
視室 他



3F 手術室

4F



病室/スタッフステーション/デイルーム/屋上庭園/新生児室/分娩室/陣痛室/面談室/洗髪シャワー室 他



4F 病室



4F 屋上庭園

病室/スタッフステーション/デイルーム/屋上庭園/新生児室/分娩室/陣痛室/面談室/洗髪シャワー室 他

5・6F



6F 病室 (特別1床)



デイルーム



1F 救命救急センター (IVR-CT装置)



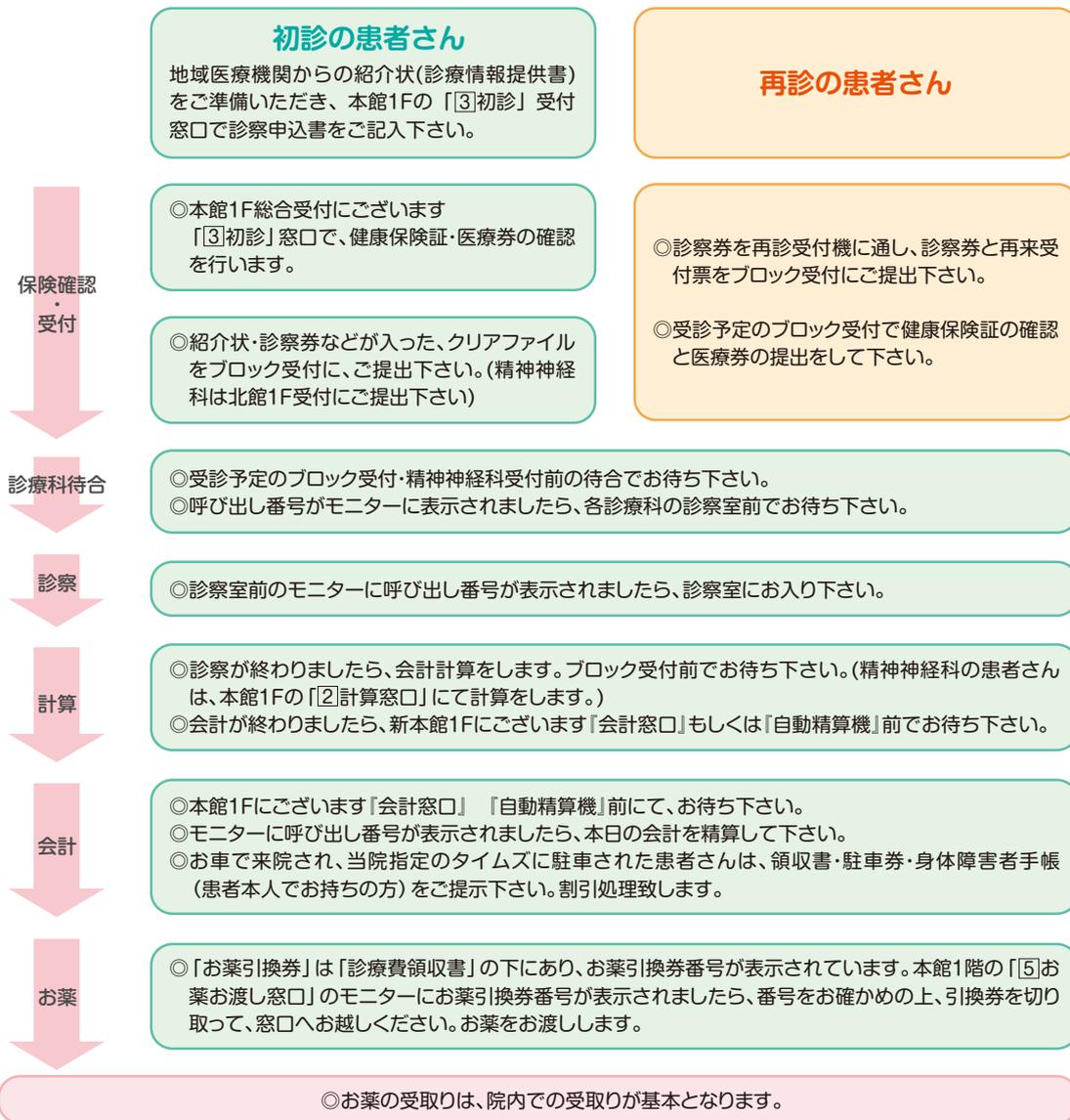
7F 透析センター



3F リハビリテーションセンター

南館	
7F	透析センター
6F	病棟
5F	病棟
4F	病棟
3F	リハビリテーションセンター
	健康科学センター
	海外渡航外来
1F	救命救急センター
B1F	血管造影室
B2F	放射線治療部
	リニアクス室
北館	
6F	病棟
1F	精神神経科 (外来・デイケア)

外来受診のながれ



選定療養費について

当院では、初診の際、「**かかりつけのお医者さんの紹介状**」を持参されない患者さんにつきましては、医療費の他に、**選定療養費2,700円(税込・平成26年4月1日改定)**をお支払いいただくこととなります。

当院を受診される場合には、できる限り身近な「**かかりつけのお医者さん**」を受診していただき、必要に応じて紹介状を書いてもらってから、ご来院ください。

院内処方・調剤について

薬剤部 部長 富田 浩



新病院開院と同時に、院内処方・調剤を開始しました。これにより、診療と薬の受け取りが病院内で済ませられること、そして、現在の診療報酬と調剤報酬の仕組みから、支払のある患者さんにとっては、ほとんどの場合で負担金額が今までより少なくなることなど、患者さんにとってのサービスが向上されました。

また、病院内では、薬の内容について、薬剤師の目からみて疑問があれば、カルテで確認したり、医師に直接問い合わせをしたりしたうえで調剤を行えるチーム

医療の環境にありますので、安心して薬を服用していただけます。

最近では、お薬を必要とする患者さんの70%近くの方にご利用いただいています。

現在、お薬をお渡しするまでの待ち時間は平均で30分前後となっております。混雑時にはまれに60分程度の時もありますが、今後とも、待ち時間を短くするよう、最善の努力をはかります。

新任診療部長のご挨拶



神経内科部長
中村 正孝 講師

この度、4月1日付で神経内科部長を拝命いたしました。私は本大学を卒業後、大学病院、関連病院にて神経難病を中心に診療・研究を行って参りました。今後ますます高齢化社会となり、神経難病の患者さんの増加が見込まれますが、難病の診断、治療、ケアについても多くの進歩が見られています。ですので、早期からの適切な対応により患者さんご家族のQOLは大きく改善できると思います。3年間神経内科の常勤医が不在とのこと、近隣の患者さんには大変ご迷惑をおかけしておりましたが、神経救急そして神経難病など幅広い神経内科疾患の患者さんを診させて頂きたいと思っており、守口市の地域医療に貢献できるよう努力致しますので、皆様のご指導と御鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



心臓外科部長
細野 光治 教授

はじめまして。平成28年4月1日付けで心臓外科部長を拝命しました。患者さん・地域医療・医学に貢献できるよう尽力する所存ですのでよろしくお願い致します。心臓外科では弁膜症・虚血性心疾患・大動脈疾患に対する手術を行いますが、「高度な医療を安全に」を心がけて日々研鑽を積んでいます。当科では、大学附属病院として低侵襲手術などの先進的術法も積極的にを行います。また地域の中核病院として、合併症を有する方や高齢の方にも、高度医療を行える施設として治療にあたります。



呼吸器外科部長
金田 浩由紀 准教授

この春から、約10年ぶりに本格的な呼吸器外科の診療を再開することとなりました。現在では多くの疾患対象に対して、胸腔鏡を用いた低侵襲な手術を行います。完全鏡視下肺葉切除などの手術を短時間で行うことにより、患者さんの術後の回復促進に寄与できます。周術期管理を大切に考え、10年前に滝井で診療していた時から枚方病院を通して続けてきた周術期呼吸支援外来では、さらに内容を充実させました。最も大事なものは、治療の方針を患者さんと一緒にしっかり相談していくことだと考えています。滝井地区での肺がんはじめとした胸部疾患の治療に貢献していきたいと考えますので、皆さまよろしくお願い致します。



耳鼻咽喉科部長
朝子 幹也 教授

この度耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長を拝命いたしました朝子でございます。専門分野は鼻科学、アレルギー学です。鼻内視鏡手術を得意としており、本邦における内視鏡下鼻副鼻腔手術新術式分類の策定にも関わり、また国内外の内視鏡外科医の育成も努めて参りました。アレルギー性鼻炎から好酸球性副鼻腔炎、腫瘍まで広範囲の鼻科手術に精通いたしております。アレルギーの領域では専門医指導医として総合アレルギー医の育成を行い、難治性のアレルギー疾患の治療に携わってきました。上下気道炎症に対する包括的治療Airway Medicineを実践し、難病指定を受けている喘息合併好酸球性副鼻腔炎の治療を数多く手がけてまいりました。地域の患者の皆様、医師の先生方双方から信頼していただける医療を提供してまいりたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



放射線科部長
宇都宮 啓太 教授

放射線科新部長の宇都宮でございます。同科では部長以外にも総合医療センター発足を機に従来の画像診断装置や放射線治療機器に加え、3TのMRI 装置、SPECT/CT、最新のリアック装置等々が導入されています。当部には画像診断、核医学、放射線治療、血管造影IVRの4つの診療分野がありますが、それぞれの領域で研鑽を重ねた専門家が診療を担当しています。我々放射線科スタッフは4分野間で連絡を密にし、最先端の機器を用いた最良の医療を提供してまいり所存であります。宜しくお願い致します。



病理診断科部長
保坂 直樹 講師

平成28年4月1日付けで香里病院から総合医療センター病理診断科に赴任しました保坂です。関西医科大学の3病院にはそれぞれの独自の役割があり、総合医療センターの使命は地域に密着しつつ高度の医療を提供する事だと思えます。実際提出される病理、細胞検体や臨床から要求されるレベルは高く、それに応えるため、現在常勤病理医2人と枚方からの応援で診断を行っています。又近年進歩著しい分子標的診断にも対応すべく努力しています。今後とも、宜しくお願い致します。